

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 市原市立辰巳台西小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒290-0004
千葉県市原市辰巳台西4-16

E-mail : tatsunishi-e@ichihara-chb.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 267名 女子 238名 合計 505名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉・交流)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1 25年度の主題

「地域とのふれあいから学ぶ」～福祉・交流教育をとおして～

学校教育目標「かがやきと思いやりをもった子どもの育成」を受け、本校では、「伝え合う力を高める指導の工夫」をテーマにした国語科の研究をしている。言葉で伝え合い、交流する中で、自分の考えが深まるとともに、友達の考えを認め合い、思いやりが育まれると考える。その力を実践する場が地域である。地域とふれあい、かかわる中で、地域とのつながりを作り、自分のできることを実践する力をつけることができると考えている。

1 主な実践内容

(1) 1年生 昔の遊び体験

毎年、辰巳福祉ネットワークの方に昔の遊びを教えてもらいながら、交流を続けている。楽しく遊びながら地域のお年寄りとのふれあい、かかわることは、核家族化が進む今日、貴重な体験活動となっている。お年寄りの方も楽しみにしてくれており、手作りのおもちゃを持参してくれるなど積極的に参加してくれている。

けんだま



めんこ



お手玉



昔の遊びをやりました。おじいちゃんとおばあちゃんは、とても上手でいろいろなわざを見せてくれてカッコよかったです。はじめてやった遊びもありました。また、いろいろな遊びに挑戦したいです。名人と給食も一緒に食べていろいろなお話をして楽しかったです。

(2) 2年生 町たんけん

生活科の町探検の学習では、「たつみの町のたから」を探そうと地域「施設」「人」の二つの視点から公共施設やお店を訪問し、そこで働く人にインタビューを行った。地域に住んでいる人々の力を感ずることができた。

公民館図書室



西小のためにベルマークを集めてくれていることを初めて知りました。みんなのためにある公民館は町の大切な場所です。

セブンイレブン



店長さんが、いつもは入れない店のうらがわを見せてくれてドキドキしました。買う人のことを考えていろいろな工夫をしていることがわかりました。

(3) 3年生 福祉体験教室

辰巳台地区福祉協議会の出前授業「福祉について知ろう」での話と車椅子体験や老人体験などをおして、自分たちがこれからできること、積極的に地域と交流していかなければならないことに気づく大切な学習となっている。



車いすに乗る時、少しこわかったけど、話しながら押してくれると安心しました。おす方の役をやったら、だんさやがたがたした所が大変でした。困っている人がいたら、助けてあげたいです。



アイマスク体験では、目をかくす時は、どこを歩いているのかわからなくてこわかったです。目の不自由な人の目は白杖と白い手ということがよくわかりました。

(4)

と年2... 地... いる。自... き誇っているのを見た時に自分たちの活動が地域の役に立っているこ

とに気づくきっかけとなっている。



(5) 5年生 敬老会食会

年3回の交流を自分たちで計画している。現在、2回行っている。回を重ねるごとに何をしたら喜んでくれるか・どんな話をしようかと積極的に取り組んでいる。6年の敬老会ボランティアにつながる学習である。



- クイズや旗揚げゲームをしたら、お年寄りの方が楽しんで参加してくださいだったので、うれしかったです。
- 自己紹介をして、いろいろなお話ができました。昔は、パイロットをしていたという方にお仕事の話聞いて楽しかったです。
- 最初は少し緊張して、恥ずかしかったけれど、笑顔で話しかけてくれたので安心しました。手作りのメダルをプレゼントしたら、喜んでくれました。また来たいと思いました。

(6) 6年生 敬老会ボランティア

毎年行われている敬老会に、辰巳台中学校生徒と本校6年生がボランティアとして活動している。児童の力を地域で必要としていること、それを素直に受け止めて進んでボランティア活動に協力しようとする

児童が増えている。地域との交流を積み重ねた成果がここに表れていると思われる。



(7) 全校 海外の文化に触れる活動

市原市内でユネスコスクール加盟をしている、市原中央高等学校との交流を始めた。インドネシアからの研修生による異文化の紹介を2年生と5年生で行った。

5年生では、総合的な学習「世界の国々を知ろう」の一環として、プロジェクターを使って写真を見ながら、インドネシアの衣・食・住や世界遺産など、インドネシアの文化についての知識を深めることができた。日本との違いに驚き、他の国々への興味を高めるきっかけとなった。

2年生では、インドネシアの文化とともに遊びの紹介をしてもらい、実際に遊んでみた。簡単なルールの遊びであったため、児童は喜んで遊び、休み時間にも遊びを楽しんでいた。

今後、マレーシアからの留学生との交流も予定している。このような海外の文化や外国の方とのふれあいは、児童にとって新鮮な驚きであり、よりよい刺激となるであろう。地域の高校との交流が持続的教育へと結びつけていきたいと考える。



5年生 総合的な学習
「世界の国々を知ろう」



2年生 特別活動「インドネシアの遊び」

(8) 届けよう 服のチカラプロジェクト

ユニセフの募金活動を毎年行っている本校では、本年度は、ユネスコが取り組んでいる持続発展教育の一環として、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）とユニクロが行っている「届けよう 服のチカラプロ

